

建設 リサイクル

2020.秋号 Vol.92

特集

NETIS と建設リサイクル



次世代に引き継ごう
豊かな環境



みんなで分別 建設副産物



建設副産物リサイクル広報推進会議

目次

特集

NETIS と建設リサイクル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

建設副産物リサイクル推進会議 事務局

キーワード：キーワード：リサイクル、リデュース、環境配慮

建設リサイクルQ & A 建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局

Q 1. 建設リサイクル法において、発注者の役割はどうなっていますか？・・・・・・・・・・31

Q 2. 建設リサイクル法において、建設業者(受注者)の役割はどうなっていますか？

インフォメーション 建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局・・・・・・・・・・34

・建設副産物リサイクル広報推進会議の活動について

キーワード：建設リサイクル、広報活動

特に断り書きのない場合、執筆者の所属・職位等は執筆当時のものです。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

表紙／2020 建設リサイクル広報用ポスター

令和2年9月30日に国土交通省から公表されました「建設リサイクル推進計画2020」※
に取組むべき施策としてNETISの活用が挙げられております。

現在のNETISに登録されている建設リサイクル技術について整理を行い、本号の特集と
して掲載いたします。

なお、「建設リサイクル推進計画2020」につきましては、2021 冬号に特集として掲載を
予定しております。

※「建設リサイクル推進計画2020 ～「質」を重視するリサイクルへ～」

の策定について

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000247.html

NETISと建設リサイクル

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局

キーワード：リサイクル、リデュース、環境配慮

1. NETISとは

NETIS（New Technology Information System）とは、公共工事等における新技術情報提供システムのことで、国土交通省が運用している新技術に係る情報を、共有及び提供するためのデータベースです。平成10年度より運用を開始し、平成13年度よりインターネットで一般にも公開し、有用な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能です。

<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>

2. 建設リサイクルに関する技術

10月19日現在の新技術情報提供システム（NETIS）登録情報から検索キーワード「リサイクル」で検索された技術について取りまとめを行いました。

3. 効果の分類

検索された技術は214件、この内、実際にリサイクルが行われているものと環境に配慮をされているものに絞込みを行い122件としました。絞込みを行った技術を廃棄物（等）の再生利用、土壌再生・廃棄物の減少、リユース技術等に効果分類し整理を行いました。

効果分類の結果は、廃棄物（等）の再生利用98件、リユース技術5件、土壌再生・廃棄物の減少5件、温室効果ガス削減2件、ヒートアイランド現象防止2件、有害物質対策3件、環境配慮材料・技術4件、水質保全2件、環境保全1件、廃棄物の縮減、削減2件となっています（重複含む）。

4. 取りまとめ結果

効果分類した取りまとめ結果を以下に示します。

特集

技術名称	NETIS 登録番号	技術概要	使用材料	効果 分類	主な用途
高機能性リサイクル固化材 GA シリーズ	QS-160022-A	本材料は、建設廃棄物である石膏ボードやその他の産業廃棄物再生物を主原料とした、低価格で資源循環型の固化材シリーズである。リサイクル材を主体とし、固化材に含まれる六価クロムの溶出抑制機能や粉じん飛散防止などの機能性を持つ固化材である。	石膏ボード等	廃棄物の再生利用	安定処理工
ライトサンド	CG-120029-VR	本技術は石炭火力発電施設から産出されるクリンカアッシュを土工材料として活用する技術である。ライトサンドは重金属の溶出が極めて少ない環境にやさしい材料であり、一般盛土材料に比べ軽量で強度が高く、排水能力も高いという、設計上、有利な特性を有する材料である。	クリンカアッシュ	廃棄物の再生利用	軽量盛土
NRC 防音パネル	KK-150050-A	本技術は、間伐材を用いた高機能な吸音パネルで、道路、鉄道、工場施設等の防音対策に適用できる。従来はグラスウールを用いた遮音壁で対応していた。本技術の活用により、騒音の低減率が向上し、間伐材の有効利用に繋がり、林業振興及び森林保護への寄与が期待できる。	間伐材	廃棄物の再生利用	騒音防止対策工
リサイクル樹脂製多条管路 マルチダクト	KT-150069-A	本技術は地中埋設のケーブルを多条同時敷設するための樹脂製多条一体型管路で、従来は角型 FEP など単管を積み重ね、束ねて対応していた。本技術の活用により、軽量、コンパクトな多条一体型管路であるため、現地作業の大幅な効率化が期待できる。	リサイクル樹脂	廃棄物の再生利用	配管工

特集

コンクリート劣化抑制表面含浸工 ジルコンパーミエイト	QS-160027-VR	本工法は、コンクリート表面に回収水を再利用した改質促進材(特殊 Ca 水溶液)を塗布し、反応型けい酸塩系表面含浸材を塗布することで、混合セメント(高炉セメント、フライアッシュセメント等)を使用したコンクリート等に対して高い劣化因子抑制効果を発揮できる。	生コンプラント 回収水	廃棄物の再生利用	表面保護工
テnderゾーン	KK-150038-A	本技術は廃電線の被覆材を粉砕した後、特殊加工して骨材化し、自然石と混合した透水型弾性舗装で、従来はゴムチップ弾性舗装で施工されていた。廃電線被覆材を粉砕し特殊加工して骨材として使用することにより、経済性の向上と景観性の向上が期待できる工法である。	廃電線	廃棄物の再生利用	歩道舗装工
三州瓦シャモット	CBK-190002-A	三州瓦シャモットは摩擦性・排水性・軽量性が高く、安定性を持つ土木資材です。従来の山砂、碎石、山土(良質土)等一般的な地盤材料に比べ、土圧低減効果があり、公共工事の品質確保や経済性の向上に寄与すると共に、省資源を促進するリサイクル材です。	廃瓦	廃棄物の再生利用	裏込め材等
ライトアース (500、200、40、スラリー、パウダー)	KKK-150001-A	ライトアースは石炭灰をセメント系固化剤で造粒固化させる等の土木資材用リサイクル材料です。支持力、せん断強度共に高く、軽量で品質も一定な為、良質土に比べ盛土重量の軽減や構造物裏込時の土圧軽減、軟弱地盤の改善などに効果が期待できます。	フライアッシュ	廃棄物の再生利用	裏込め材等

特集

FRC 碎石	TH-110021-VE	火力発電所より排出され埋立処分されている不均一な含水比の石炭灰を主原料とし、特殊混合と圧密振動成型・養生にて固化後、破碎(粒度調整)する技術によって不純物混入のない均一な品質の再生碎石を提供する。	石炭灰	廃棄物の再生利用	裏込め材等
アジャストーン	QS-110002-VE	アジャストーンは碎石場の岩ズリ等を破碎、調整(フルイ選別・コンクリートガラを配合調整)した製品である。安定した品質そして建設副産物の再利用や地域環境への影響抑制を目的とした製品である。	コンクリート塊	廃棄物の再生利用	裏込め材等
セーフティコーンシリーズ	KT-160007-A	本技術は柔軟性があるロードコーンで、従来は硬質性PVC製ロードコーンで対応していた。本技術の活用により、ロードコーンが車両に踏まれても形状を回復することができるため、耐久性の向上が図られる。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	仮設工
ジオ・ステップ簡易階段	KK-150063-A	本材料は法面点検・避難等に対応できる簡易階段で、従来は再生プラスチック階段を使用していた。裏面を蜂の巣構造にすることで軽量化し、段鼻部を滑り止め構造にした本材料の活用によって、工程短縮、経済性・施工性・品質の向上や地球環境負荷の低減が期待できる。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	仮設工
リピーボード	KTK-140006-A	本技術は、再生ポリエチレンを用いた軽量敷板で、従来は敷鉄板で対応していた。本技術の活用により、重機を使用していた敷設・撤去が人力のみで容易に行え、施工性の向上および使用後のリユース・再資源化によるリサイクル性の向上が図れます。	再生ポリエチレン	廃棄物の再生利用	仮設工

特集

天竜杉間伐材使用木製単管バリケード「きばり君」	CB-140007-A	工事現場を通る通行人や運転者の印象に配慮し、工事現場のイメージアップを図る目的で開発された、天竜杉の木目を活かした心とむ単管バリケードです。主要部材を間伐材のリサイクルとした安価で環境にやさしいバリケードです。	間伐材	廃棄物の再生利用	仮設工
スーパージュライトシリーズ	KT-130053-VR	本技術は、再生ポリエチレンを使用した敷板であり、従来は、コンクリート型枠用合板で対応していた。本技術の活用により、養生面の曲がりや段差に柔軟なため、スコップやトンボ等を使用した下地処理の手間が低減され、施工性の向上が期待できる。	再生ポリエチレン	廃棄物の再生利用	仮設工
ブラロード式簡易仮設道路工法	KT-100053-VR	本技術は、再生プラスチックブロック(ブラロード)を用いた簡易仮設道路工法で、従来は山砂を用いた盛土式仮設道路工法で対応していた。本技術の活用により、重機を使用していた敷設・撤去が人力のみで容易に行え、山砂の締め固め作業が不要となり大幅な工期短縮が可能。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	仮設工
工事等 A 型看板用ベッド オモリちゃん	KT-160037-A	本技術は、A 型工事看板設置時における転倒防止用重石で、廃プラスチック 90%間伐材(木質バイオマス)10%で製作している。従来は、プラスチック製注水式重石で対応していた。本技術の活用により、石油由来の資源低減及び再生可能な木材資源の有効活用が図られる。	廃プラスチック、間伐材	廃棄物の再生利用	仮設材

特集

ネオリング	KT-170010-A	本技術はマンホール蓋交換工事の際に使用する部材で、従来はブレーカー等により舗装版を取壊した後、受枠固定ボルトを撤去又は切断してコンクリート製調整リングに交換していた。本技術の活用により一括撤去ができ、環境、経済性、施工性、品質の向上が図れます。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	管渠工
ポーラスサンド (クリンカアッシュ)を用いた 軽量盛土工法	SK-160009-A	本技術は、ポーラスサンドを活用した軽量盛土工法で、従来は山砂や碎石等による盛土工法で対応していた。本技術の活用により、土圧が小さくできるため、荷重を軽減でき、構造物のスリム化が可能となる。	クリンカアッシュ	廃棄物の再生利用	軽量盛土工
ネオプラボード	KT-170050-A	本技術は、再生ポリエチレン成型した仮設用樹脂製敷板で、従来は金属敷板で対応していた。本技術の活用により下地整地が軽減され、リサイクルも可能となり工程短縮、施工性、周辺環境の向上が図れ、軽量なため重機を使用せずに敷設可能で安全性、経済性の向上が図れます。	再生ポリエチレン	廃棄物の再生利用	工事用明示版
メビウスクリート	KK-170042-A	申請技術は生コンクリートに混和材として高炉スラグ微粉末を用いた技術であり、従来は普通ポルトランドセメントを使用していた。本技術の活用により生コンクリート製造時のCO2排出量を低減できるため、地球環境への影響を抑制できる。	高炉スラグ	廃棄物の再生利用	コンクリート工

特集

ハレーサルト剛性防護柵	CG-160019-A	本技術は製品製造用コンクリート中のセメント質量の60%と細骨材質量の100%を高炉スラグに置き換えて塩害および凍害に対する耐久性を向上させたプレキャスト剛性防護柵である。本技術の活用により耐塩害性能と耐凍害性能を兼ね備えた高耐久性構造物が構築可能である。	高炉スラグ	廃棄物の再生利用	コンクリート工
コンクリート混和材(CfFA:改質フライアッシュ)	QS-100005-VE	CfFA(改質フライアッシュ)は、石炭火力発電施設から排出されるフライアッシュを改質した混和材料で、①コンクリートのひび割れ・アル骨反応等の劣化現象の抑制、②構造物の長寿命化、③ライフサイクルコストの低減等の効能の外、フライアッシュの大量消費を可能とする。	フライアッシュ	廃棄物の再生利用	コンクリート工
生物共生型 Fa ブロック	THK-160003-A	本技術は火力発電所より排出される石炭灰を有効利用し製造したブロックにより海域環境の再生・創出を目指すことを目的とするものである。従来はコンクリートブロックで対応していたが、本技術の活用によりコストの縮減と工期の短縮が可能となる。	石炭灰	廃棄物の再生利用	コンクリートブロック
産業廃棄物酸化スラグの骨材活用コンクリート技術	CB-170017-A	産業廃棄物酸化スラグの骨材活用透水性・止水性・高硬度重量コンクリートを河岸・海岸の保護・補強の護岸工事に最適です。	電気炉酸化スラグ	廃棄物の再生利用	コンクリート用骨材骨材

特集

ハイブリッドドライモルタル	KT-140062-A	本技術は、生コンクリート工場で問題となる戻りコンクリートを再生利用した低炭素型ドライモルタルで、従来は土間打ちや外構工事の補修等に使用するドライモルタルで対応していた。本技術の活用により、環境負荷を低減でき、地球環境への影響抑制が図れます。	再生セメント	廃棄物の再生利用	コンクリート工
キリファイバー	KT-140036-VE	本技術は、ポリエステル短繊維をモルタル・コンクリートに投入して吹き付けし、吹付面のクラック(ひび割れ)の発生を抑制する技術で、従来は吹付モルタル・コンクリート材料で対応していた。本技術の活用により、吹付面のクラックの発生が抑制されるので品質が向上する。	廃ポリエステル	廃棄物の再生利用	コンクリート工
クリーンクリート	KT-130003-VE	本技術は、産業副産物(高炉スラグ微粉末、フライアッシュ、シリカフェーム)を大量に用いたコンクリートで、従来は、普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートで対応していた。本技術の活用により、CO2排出量が削減できるため、地球環境への影響抑制が図れます。	高炉スラグ、フライアッシュ、シリカヒューム	廃棄物の再生利用	コンクリート工
スーパーハイブリッド(耐塩害性・高耐久性コンクリート混和材)	QS-160030-A	レディーミクストコンクリート製造時に、コンクリート配合のセメントと置換し結合材の一部として使用することで、耐塩害・アルカリ骨材反応の抑制・収縮ひび割れの抑制に効果を発揮し、構造物の耐久性を向上し長寿命化、ライフサイクルコストの低減が期待できる。	石炭脈石	廃棄物の再生利用	コンクリート混和材

特集

エフエーボード -S・シリーズ	KTK-200004-A	本製品は、フライアッシュ強化ポリエチレン製の軽量安全敷板で、従来は敷鉄板で対応していた。本製品の活用により、石炭火力発電所から発生する石炭灰及び再生ポリエチレンをリサイクルでき、軽量であるため、安全性や施工性にも優れる。	フライアッシュ、再生プラスチック	廃棄物の再生利用	敷板
リプラギフロア ーマット	KK-180016-A	本技術は再生ポリエチレンを圧縮し成型をした軽量な敷板であり、従来は鉄製の敷き鉄板を使用していた。本技術の活用により、工程短縮と安全性・施工性の向上が期待できる。	再生ポリエチレン	廃棄物の再生利用	敷板
超軽量敷板プラ ボーくん PSL シリーズ	KT-160045-A	本技術は、4層構造のポリエチレン製の超軽量敷板で、従来は、コンクリート型枠用合板で対応していた。本技術の活用による軽量化と専用設計のワンタッチ連結具により、作業効率・経済性・環境負荷の低減を図ることが可能となる。	再生ポリエチレン	廃棄物の再生利用	敷板
エコガイアスト ン固結タイプに よる軟弱粘性土 地盤改良工法	KTK-140002-A	品質管理された鉄鋼スラグを海上 SCP 工法を用いて軟弱粘土地盤に固結杭を築造することにより、構造物の支持地盤として従来の砂杭で改良された改良地盤よりも高強度、高剛性の改良地盤を提供する工法。	鉄鋼スラグ	廃棄物の再生利用	地盤改良工
エコミックス	KT-190121-A	本技術は道路等のアスファルト舗装に使用する再生骨材を配合した常温合材で、従来は常温合材で対応していた。本技術の活用により再生材料のリサイクル率が向上し、環境負荷低減が図れます。	再生骨材	廃棄物の再生利用	常温合材

特集

コンクリート処理剤テラ	CB-180033-A	本製品をコンクリートポンプ車のホッパーへ投入することにより、製品に含まれる急結促進剤と高吸収性ポリマーと還元剤で土砂化及び、無害化し、残コンクリートを処理できる技術である。	急結促進剤、高吸収性ポリマー、還元剤	廃棄物の再生利用	添加剤
重金属不溶化材「ポーラミックス」	CG-200006-A	産業廃棄物として処理が必要な、加工砂・砕石の製造過程で発生する汚泥(脱水ケーキ)を主原料とした、重金属を含有する土壌から溶出する重金属類を吸着、不溶化する材料です。	汚泥	廃棄物の再生利用	添加材
セルドロンCを用いた生コンクリート処理工法	KT-200036-A	本技術は、残コンクリートを硬化前に造粒する工法で、従来は、硬化後破碎処理していた。本技術により、破碎処理の必要がなくなるので、省人化され経済性の向上と工程の短縮が図れます。	古紙等を微細加工した細かなセルローズ繊維	廃棄物の再生利用	添加材
石膏系中性固化材(エコハードAII)	CB-160012-A	泥土のpHに影響を与えることなく中性のまま固化するため、アルカリによる動植物への影響がなく周辺環境への配慮が図れる。短時間(30~120分程度)で固化するため、速やかに再利用でき工程短縮が可能となる。生石灰と比べて発熱量が小さく、取扱・貯蔵時の安全性が向上する。	石膏	廃棄物の再生利用	土壌改良材
ケーソン中詰用銅スラグ	SKK-140002-A	本技術はケーソン中詰材に銅スラグを用いるものである。銅スラグは品質の安定した工業製品であり、銅製錬の副産物として製造されるリサイクル製品である。本技術の活用により、従来使用されていた天然砂の密度や粒度のバラツキや採掘時の自然破壊などの問題が解決される。	銅スラグ	廃棄物の再生利用	中詰め材

特集

MK 受圧板工法	KT-200029-A	本工法は、開口部を設けた鉄筋挿入工用の受圧板で、従来は吹付のり砕工で対応していた。本技術の活用により、開口部からの緑化が可能となり、周辺環境への影響抑制が図れる。	アルミ合金、リサイクルプラスチック	廃棄物の再生利用	法面工
EP 受圧板	TH-110011-VE	本技術は リサイクルプラスチックを利用した切土補強土工法用の受圧板である。従来は吹付法砕で対応していた。本技術の活用により斜面の安定且つ全面緑化及びコストの縮減・環境負荷の低減が期待できる。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	法面工
サンダーグリーン工法	SK-100014-VE	本技術は、緑化が困難な酸性土壌において中和材で土壌酸性度を矯正し、肥料効果がある微生物資材により緑化を可能にする工法で、従来は、植生基材吹付工の吹付厚を厚くすることで対応していた。本技術の活用により、酸性矯正効果の持続、経済性の向上が可能となった。	石灰質、ケイ酸カルシウム、VA菌根菌	廃棄物の再生利用	法面工
RS パネル	QS-100006-VE	ガラス長繊維強化プラスチック発泡体の切削時に発生する切り屑材をウレタン樹脂と混合させ加圧整形する事により、軽量且つ腐食せず切土補強土工用反力板として使用することで緑化を可能とした技術。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	法面工
クリンカアッシュを固める防草工法	SK-180018-A	本技術は、リサイクル骨材のクリンカアッシュを固めることで雑草が繁茂するのを防止する技術で、従来はコンクリート工で対応していた。本技術の活用により打設作業の簡素化と早期現場解放が可能となります。これにより交通規制の短縮や工事費削減につながります。	クリンカアッシュ	廃棄物の再生利用	表層工

特集

再生 PET フェンス	KT-180109-A	本技術はネットフェンスの金網に使用される被覆材に PET ボトルを再生した樹脂を使用する技術で、従来は、ポリエチレン樹脂を被覆材とした鉄線の金網が使われていた。本技術の活用により PET ボトルの再利用が可能となるため、資源の有効活用度の向上が図れます。	PET ボトル	廃棄物の再生利用	フェンス材
LL クリート	KT-160066-A	本技術は、耐塩害、耐硫酸性プレキャストコンクリート製品で、従来は鉄筋かぶりを増厚したプレキャストコンクリート製品で対応していた。本技術の活用により、鉄筋かぶりを増厚せずに効果が発揮できるため、品質、経済性、耐久性の向上と、周辺環境への影響抑制が図れます。	高炉スラグ	廃棄物の再生利用	プレキャストコンクリート製品
ハレーサルト張り出し歩道	CG-130006-VE	本技術はセメントの 60% と細骨材の 100% を高炉スラグに置き換えることにより、塩害および凍害に対して耐久性を向上させたプレキャスト張り出し歩道である。本技術の活用により耐塩害性能と耐凍害性能を兼ね備えた高耐久性構造物が構築可能である。	高炉スラグ、フライアッシュ、シリカヒューム	廃棄物の再生利用	プレキャストコンクリート製品
高炉徐冷スラグ骨材を 100% 使用したコンクリート二次製品	KK-110041-VR	本技術はリサイクル骨材である高炉徐冷スラグ骨材 100% 使用した技術で、従来技術は天然骨材を使用していた。本技術の活用により、Co2 排出量の低減、アルカリシリカ反応を起こさない安定な骨材の使用により、省資源化に期待できる。	高炉徐冷スラグ	廃棄物の再生利用	プレキャストコンクリート製品

特集

グリーン PCa	SK-150005-A	本技術はプレキャストコンクリート製品の耐塩害性向上・低炭素化を図る技術である。従来は、表面保護剤の塗布、防錆剤等に対応し、二酸化炭素排出量の多いコンクリートを使用していた。本技術により、耐塩害性が向上し、構築物の低炭素化、副産物の有効利用が図れる。	高炉スラグ微粉末、フライアッシュ	廃棄物の再生利用	プレキャストコンクリート製品
グラベルフィックス	KTK-160012-A	ハニカム構造の枠材に砂利を充填することで、砂利が安定し、自然そのままの砂利道でハイヒール・車イス・自動車等の走行を可能にする。浸透性に優れ、雨水を地中に浸透させ、地中改善を図る。また、砂利を舗装することで太陽の照り返しを抑える効果もある。	再生ポリプロピレン	廃棄物の再生利用	舗装工
アイスクラッシュペイブ	KT-140058-VR	本技術は、舗装体内に混入させた低温時にも柔らかいゴムチップが通行車両の荷重によりたわむことで冬期路面の凍結抑制ができる技術で、従来は密粒度アスファルト舗装で対応していました。本技術の活用により、舗装表面の雪氷の破碎・除去を効率的に行うことができます。	廃タイヤ	廃棄物の再生利用	舗装工
アイストール	HR-140010-VR	本技術は、アスファルト舗装表層に対する物理系凍結抑制舗装で、従来は密粒度アスファルトで表層全体を舗装していた。アスファルト表層上部に薄層の弾性層を施したことによる凍結路面発生の抑制が期待できる。	廃タイヤ	廃棄物の再生利用	舗装工

特集

土舗装ゼロエミッション工法	KKK-170006-A	遊歩道や園路などの歩道舗装工において、表層上部に現地の真砂土を表層下部に熔融スラグを用いた二層式自然土舗装で、従来は、アスファルト舗装で対応していた。本技術の活用により、良質土の使用抑制や熔融スラグのリサイクル等、人と環境に優しい土系舗装が可能となる。	熔融スラグ	廃棄物の再生利用	歩道等の舗装
瓦骨材利用薄層舗装 K-グラントコート	HR-140003-VR	本技術は不要になった瓦を粉砕し、骨材として使用した土系質感の常温塗布式薄層舗装(水性)で、高い防滑・視認性がある。また、本技術の活用で従来よりも安価に施工でき、リサイクル率の向上と路面温度上昇を押さえ、循環型社会形成に役立てることが出来る。	廃瓦	廃棄物の再生利用	歩道等の舗装
固まる簡易舗装材 カタマ SP	QS-130016-VE	本材料は、簡易舗装材で、鉄の製造過程で発生する高炉水砕と製鋼スラグを100%リサイクル利用し、スラグ特有の水と反応して固まる省エネルギー、省資源に優れた材料です。	鉄鋼スラグ	廃棄物の再生利用	歩道等の舗装
土系舗装用改良材、特殊針葉樹皮改良材「JGS-CCクレイ」	KTK-110003-VR	本資材は、針葉樹(スギ・ヒノキ)の皮層を原料としたリサイクル土壌改良材。砂ぼこりのたつ運動場やグラウンド、水はけの悪い公園などは、本資材を混合することにより、その性状を改善させます。また、針葉樹皮の特性により、雑草種子の発芽を抑える効果があります。	針葉樹の樹皮	廃棄物の再生利用	歩道等の舗装

特集

間伐材丸太安全防護柵	KT-190088-A	本技術は鋼製の支柱を用いて横ビームは、間伐材の丸太を利用したハイブリット式の横断・転落防止柵である。従来は全て鋼材を使用した製品で対応していた。本技術の活用により周辺環境への影響抑制が図られます。	間伐材	廃棄物の再生利用	丸太材
エコラロック	KT-180021-A	本技術は、焼却灰・燃え殻等の廃棄物を溶融することによって発生する溶融スラグであり、従来は、クラッシャーランを用いていた。本技術の活用により、廃棄物をリサイクルすることが可能となるため、経済性の向上、環境負荷の低減が図れます。	溶融スラグ	廃棄物の再生利用	路盤材等
ラバアスコン (現場練加熱アスコン)	TH-170004-A	現場で加熱練りして使用する路面補修用材料「ラバアスコン(骨材に"フィラー入り特殊アスファルト"を被膜した補修用合材)」を開発した。経済性および施工性が改善される。	潤滑油廃液	廃棄物の再生利用	路面補修
ジオタイザーによる軟弱土改良	KT-150041-A	本技術は、安定処理工、路床改良工に用いる製鋼スラグを原料とした石灰系粒度調整材であり、従来はセメント・石灰系固化材を用いていた。本技術の活用により、建設コスト縮減による経済性向上、早期強度発現による施工性向上、防塵不要による作業員環境の向上が図れる。	製鋼スラグ	廃棄物の再生利用	安定処理工
レストム工法	TH-100029-VR	本技術は、建設汚泥を原位置で改良し現場内で再資源化する工法です。改良材には、吸水性の高いフライアッシュを主原料にしたDF2B剤を使用することで、第3種～第2種建設発生土以上に改良できます。改良土は埋め戻し・築堤・表土等幅広く活用が可能となります。	フライアッシュ、石膏	廃棄物の再生利用	安定処理工

特集

プラスチック製 雨水貯留浸透槽 「パネケーブ/ システムパネ ル」	KT-170047-A	本技術は、ワンタッチはめ込み式のプラスチック製雨水貯留浸透槽で、従来は、プレキャストコンクリート製貯留槽で対応していた。本技術の活用により、小型軽量化した樹脂製部材で、運搬および組立等の人力施工が可能となるため、施工性および経済性の向上が図れる。	再生ポリプロピレン	廃棄物の再生利用	雨水浸透槽
J・ミックス	KT-180028-A	本技術は、雨水貯留浸透基盤を形成する資材の技術である。従来は、浸透トレンチ(単粒度砕石)で対応していたが、本技術の活用により、目詰まりを抑制できるため貯留浸透効果が向上し、品質、施工性、経済性、周辺環境の向上、工程短縮が図れ、樹木の生育も可能である。	再生砕石、レンガ類、ALC、瓦類	廃棄物の再生利用	雨水貯留浸透基盤材
Gブロックドレイン	KT-160064-A	本技術は、雨水吸水部にステンレス製又はゴム製フィルターを設けた鋼製排水溝である。従来は、排水柵と排水管による排水処理で対応していた。本技術は、構造上ゴミや枯葉が入らないため、清掃作業の省力化による施工性の向上と排水能力の安定により品質が向上する。	リサイクルゴムチップ	廃棄物の再生利用	橋梁排水管設置工
ペラペラくんによる再生型枠パネル	KK-150042-A	本技術は型枠パネルの古い合板と木枠を分離し、従来、合板とともに捨てられていた木枠に新しい合板を張った再生型枠パネルです。木枠の再利用とともに、はがした古い合板の有効利用も可能とし、省資源と廃棄物量の削減を実現するものです。	再生合板	廃棄物の再生利用	型枠工

特集

バイオモニタリングキャップ	QS-150014-A	合成床版・グレーチング床版用脱枠不要なモニタリング孔用型枠材で従来は止水テープで行っていた。本技術の活用によりコンクリートの充填状況やコンクリートの経年変状の確認が行える。また、生分解性を有しているためキャップは脱枠不要である。	生分解性プラスチック材 再生プラスチック	廃棄物の再生利用	型枠工
リサイクルゴム製ハンプ<減速くん>	KT-160087-A	本技術は、リサイクルゴム製ハンプで段差を設けて通過車両の速度抑制を促す技術で、従来はアスファルト盛り上げハンプで対応していた。本技術の活用により、車両重量による形状の変化がなくなり耐久性の向上と、工事時間の削減が可能となり経済性の向上が図れます。	廃タイヤ	廃棄物の再生利用	減速装置
ゆいサンド工法	OK-170004-A	石炭火力発電所から排出されるクリンカアッシュ(石炭灰)を芝生の植生基盤材に再利用した製品です。保水性・透水性・踏圧に優れ根の発育を促進し、芝生の健全生育が期待できます。	クリンカアッシュ	廃棄物の再生利用	芝生植生基盤材
グラスグリッド	KT-160100-A	本技術は特殊アクリル樹脂で浸透コーティングした強靱なガラス繊維グリッドで、従来は不織布系リフレクションクラック抑制シートで対応していた。本技術の活用によりリフレクションクラック抑制効果が向上し、離型紙の剥離作業がないため1日あたりの敷設量もUPします。	ガラス繊維グリッド	廃棄物の再生利用	車道舗装工

特集

雑草防止材(頑太郎)	CB-170011-A	本技術は雑草の発生を防ぐための技術であり、従来は草刈、防草シートで対応していた。本技術の活用により、長期的に雑草管理手間の軽減、産業廃棄物の処分量の削減等の効果が期待できる。軽量で簡単に施工でき、保水力が高く表面温度が低い事により環境負荷の低減を得られる	廃瓦,石炭灰	廃棄物の再生利用	修景緑化工
景観対応型マルチングシート『ブッシュワールド』	KK-160061-A	本技術は、道路や公園等の植栽帯や法面等の雑草が繁茂しやすい場所において、長期間にわたって、雑草の防草効果を発揮する技術。	再生ポリエステル不織布	廃棄物の再生利用	修景緑化工
ポールガード(防草マット)	QS-160046-A	ガードレール等の支柱周りの雑草繁茂を抑制する防草マットで、草刈り作業が軽減され、草刈り機による支柱の損傷防止や接触による事故防止により、安全性の向上が期待できる。	廃棄タイヤ等	廃棄物の再生利用	修景緑化工
TM300zero(ノンブリーディング充填材)	QS-190026-A	廃既設管等の閉塞充填において、耐水性や流動性に優れたノンブリーディングの空隙充填材で、従来は、エアモルタルで対応していた。本技術の活用により、充填前の管内残水処理や充填後の空隙処理が不要となるため、施工性や品質が向上する。	高炉スラグ	廃棄物の再生利用	充填材
ウッドチップフィルター工法	KK-100097-VE	申請技術は現場の濁水対策に木チップを利用したフィルター工法です。従来はヤシ繊維製品によるフィルター工法を実施していた。本技術の活用により、濁水の緩和や土砂流出を抑制するとともにコストの削減が図られる。	木質チップ	廃棄物の再生利用	水質保全工

特集

ウッディソイル・ネオ工法	CB-190024-A	本技術ウッディソイル・ネオ工法は、従来は植生基材吹付工で対応していた範囲に適応が可能で、高度化成肥料を使用しないことや N2O 排出抑制微生物資材を混合したことにより、経済性や社会環境性により優れた施工が可能な技術。	木質チップ	廃棄物の再生利用	生育基盤材
粒度調整土工盛土材 おろちの鋼土	CG-170011-A	おろちの鋼土は、加工砂・碎石の製造過程において発生する産業廃棄物として処理が必要な汚泥(脱水ケーキ)と、独自に粒度調整された真砂土を設計条件を元に配合し製造する事から、安定した品質と高い遮水性能を持った築堤盛土や路床盛土に適したリサイクル製品です。	汚泥	廃棄物の再生利用	盛土材
セル型グラベルマット	QS-170017-A	本技術は土砂の吸出しや洗掘による構造物の不等沈下防止に利用できるマット材料である。従来はかごマットで対応していた。本技術の活用により、高い透水性と柔軟性を併せ持ち、特殊な連係構造による安定性も有している。	再生ポリエステル繊維	廃棄物の再生利用	袋詰玉石工
吸水性が優れた土壌固化材キックコート	KT-160129-A	本技術はフライアッシュを主成分とする土壌固化(団粒化)材で、従来はセメント系固化材で対応していた。本技術の活用により建設発生土の固化性能を有し、環境負荷への軽減、即効性で工程の短縮、施工性・経済性の向上、安全・無害で植生できる改良処理土の実現が図れる。	フライアッシュ	廃棄物の再生利用	土壌固化材

特集

簡易斜面変位監視システム	KT-100012-VE	本技術は、無線センサを内蔵した杭を斜面に設置し、斜面の傾きを計測・遠隔監視するもので、従来は据置型地盤傾斜計で対応していた。本技術の活用により、多点の設置が容易となり設置後の現場立入が不要となることで、安全性・施工性の向上、コストの縮減が期待できる。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	分析・予測システム
石州瓦コンクリート舗装工法	CG-170004-A	本技術は、従来は廃棄処分されていた規格外石州瓦を100%粗骨材として再利用した普通コンクリート舗装で、舗装表面に石州瓦の色合い(薄茶色)を出すことのできる景観(美観)性に優れたコンクリート舗装工法です。	廃瓦	廃棄物の再生利用	舗装工
高吸水、高保水性セラミックブロック(モイストペーパー)	CB-170028-A	本製品は、歩道、公園等の舗装工に用いる舗装用セラミックブロックであり、従来は、インターロッキングブロックで対応されていた。本製品は、細かい気孔を形成し、その強力な毛细管現象により、下地の敷砂等から強力に吸水、保水し、表面温度の低下を持続する。	未利用資源キラ	廃棄物の再生利用	舗装用ブロック
遮熱性れんが	QS-160020-A	窯業廃土や耐火れんが屑などを60%以上リサイクル原料として配合したエコマーク認定取得品で、遮熱性能に優れたれんがである。本製品を舗装した路面の温度がアスファルト面より10℃以上低く維持でき、夏場の照り返しを軽減し、歩行者に優しい舗装である。	窯業廃土、耐火れんがくず	廃棄物の再生利用	舗装用ブロック

特集

クールアイランド舗装(CI 舗装)	KT-160074-A	本技術は、タイル、陶磁器廃材を再利用した歩道用透水性遮熱舗装で、従来は薄層カラー舗装の景観透水性舗装で対応していた。本技術の活用により、タイルや陶磁器廃材を再利用できるため、リサイクル性向上及び経済性の向上が期待できる。	陶磁器廃材	廃棄物の再生利用	歩道舗装工
雑草アタック S 土系舗装材	QS-150035-A	本製品は、天然素材 100% の土系舗装で、舗装材には竹短繊維や天然吸水骨材を使用しているため吸水性や保水性を有している。従来はアスファルト舗装等で対応していた。本製品の活用で品質及び環境の向上が期待できる。	竹短繊維、天然骨材	廃棄物の再生利用	歩道舗装工
NC ショット	QS-150001-VE	本技術は、コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材である。従来その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化した。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。	高炉水砕スラグ	廃棄物の再生利用	補修補強工
法面防草材 G カタマ	QS-140018-A	鉄の製造工程で発生する副産物の鉄鋼スラグを利用して、法面に土羽を構築し、防草対策を施すリサイクル材料である。また、一般土工と同じ簡易な機械施工による作業でコスト縮減や、工期短縮が期待できる。	鉄鋼スラグ	廃棄物の再生利用	法面工

特集

NINJA パネル	TH-140015-VR	本技術は、地山補強土工法の独立受圧板として使用されるもので、従来は吹付法砕工で対応していた。本製品の活用により工程短縮及びコスト縮減の向上が期待できる。	再生プラスチック	廃棄物の再生利用	法面工
石炭灰改良土(ソマッシュ)を用いた盛土工法	TH-150002-A	石炭灰に高炉セメント、助材(カルシウム系の不溶化材)、水を添加・混合して不溶化処理し、環境安全性に対して問題のない石炭灰改良土(ソマッシュ)を製造する。ソマッシュは、防潮堤や防災緑地、道路や宅地造成の盛土材料として活用する。	石炭灰	廃棄物の再生利用	埋戻工
再生土エコマサ	CG-140009-A	エコマサは、鋳物鋳業企業から産業廃棄物として排出される鋳物廃砂を有効利用した土木建築用再生土です。道路盛土や床掘埋戻し土として利用できる安価で施工性に優れた製品です。	鋳物廃砂	廃棄物の再生利用	埋戻工
エヌエスエコサンド	QS-130021-VR	一般廃棄物溶融処理施設から排出される溶融スラグを既存の再生砂の代替材料として、埋め戻し材、路床材(置換材)、排水用フィルター材、アスファルト混合物及び各種コンクリートの細骨材に利用できる。資材のリサイクル性を高め、資源循環型社会に貢献できる。	溶融スラグ	廃棄物の再生利用	埋戻工
GOR 工法	CG-120011-VR	本技術は、厚層基材吹付工において生育基盤材に生木材を使用することで現地・周辺地域での発生木材の再利用促進につながる技術。従来、生木材をチップ化しそのまま育成基盤材として使用した場合、緑化育成障害が発生することから育成基盤材として使用さ	木材チップ	廃棄物の再生利用	緑化工

特集

		れなかった。			
水草・刈草等の有効活用のための『KS 工法』	SK-100006-VE	建設工事・維持工事で発生する植物性廃棄物(伐木・伐竹・除根・刈草・水草・アオコ等)を発生現場で処理する技術。従来は、廃棄物として中間処理施設(焼却)に搬出していた。「KS 工法」は、現場で周辺環境に悪影響(臭気等)を与えずに堆肥化して有効活用する。	伐木・伐竹・除根・刈草・水草等	廃棄物の再生利用	緑化工
環境修復用の砂代替材(Hi ビーズ)	SKK-120002-VE	本技術は、石炭灰による海域環境改善技術である。天然砂により海底を覆うという物理的効果に期待した従来技術に対し、石炭灰造粒物(Hi ビーズ)は、栄養塩や硫化物イオンの吸着能力があり、化学的効果を併せ持つことから海域環境修復に優れた材料である。	石炭灰	廃棄物の再生利用	浚渫工
遮水性防草シート「エバー」	KK-200039-A	本技術は不透水性と遮光性を持った防草シート製品の技術であり、従来は道路除草工(肩掛け式:飛び石防護有り)であった。本技術の活用により、耐久性が向上し、ライフサイクルコストの削減による経済性向上が期待できる。	再生ポリエステル	廃棄物の再生利用	防草工
リフィルライト(クリンカアッシュ)を用いた軽量埋戻し工法	CB-200008-A	本技術は橋台アプローチ部の擁壁背面等を産業副産物であるリフィルライトによって埋め戻す軽量埋戻し工法で、従来は購入砂による埋戻し工法で対応していた。本技術の活用により、コスト縮減や工程短縮が図られ、環境負荷軽減が期待できる。	クリンカアッシュ	廃棄物の再生利用	埋戻し工等

特集

GS 石灰処理土 GS ソリッド	QS-160044-A	GS 石灰処理土 GS ソリッドは、建設発生土を自社プラントにて 40-0mm に篩ったものに、独自の配合で製造した粒調砕石 40-0mm(以下、「GS 粒調砕石」と呼ぶ)を約 50:50 で投入し、安定材として生石灰を添加して自社プラントで混合・製造した粒状地盤材料である。	建設発生土、GS 粒調砕石、生石灰	廃棄物等の再生利用	路床材
発泡廃ガラス (ミラクルソル) 水質浄化システム	QS-140021-A	従来河川・池等の公共水域において、曝気付礫間接触酸化法により水質浄化を行っていたが、この発泡廃ガラス(ミラクルソル)水質浄化システムは、設備がコンパクトになり、かつ廃ガラス等のリサイクルの向上にもつながる。	廃ガラス	廃棄物の再生利用・水質保全	発泡廃ガラス(ミラクルソル)水質浄化システム
自走型回転式破砕混合機 (TMSP1500)	KT-200094-A	本技術は、建設発生土をリサイクルして盛土材を製造する自走型の改良工法で、従来は安定処理工(自走式土質改良工)で対応していた。本技術の活用により、最大粒径 200mm までの軟岩の破砕・粒度調整と固結粘性土の解砕ができるため、品質の向上が図れる。	建設発生土	廃棄物等の再生利用	安定処理工
SRP 工法 (STATIC REFUSE PRESS)	KT-160029-A	本技術は、廃棄物を静的に圧縮して減容化する工法で、従来は重錘落下締固め工法などの密度増大工法で対応していた。本技術の活用により、海面処分場などの地下水位の高い処分場でも、既設構造物に影響を与えることのない低振動、低騒音の施工が可能となる。	—	廃棄物の縮減	地盤改良工

特集

海水系酸化マグネシウム重金属不溶化剤 スーパーMAG	CG-160004-A	重金属で汚染された土壤等は従来は掘削除去され処分場に持込まれていたが、本技術は海水系酸化マグネシウムを用いて重金属で汚染した土壤等の不溶化を行う。本技術を活用することによって、処分場の持込み費用が削減でき、盛土等へのリサイクルが可能となる。	海水系酸化マグネシウム	廃棄物の削減	土壤汚染対策工
中和不溶化改質剤 メタルシャット シリーズ	KT-200060-A	本技術は、重金属の溶出を化学結合で不溶化すると同時に、土壤を中性に保ちながら固化もする中和型・中性型の土壤改質剤で、従来は汚染土壤処理施設や最終処分場への廃棄で対応していた。本技術の活用により重金属汚染土壤を土木資材で適正利用しコストダウンが図れる。	CaO、MgO、CaSO ₄ 、SiO ₂ 、Al ₂ O ₃ 、Fe ₂ O ₃ 等の、複数の鉱物を焼成及びブレンドした無機鉱物複合体	土壤再生・廃棄物の減少	土壤改良剤
汚染土壤の不溶化・泥土改質材「Remex(リメックス)」	CG-190006-A	PS灰(古紙を製造する過程で、再生が難しくなり製造工程から除去されたもの)をもとに開発した不溶化改質材 Remex(リメックス)による不良土(汚染土壤・建設汚泥・軟弱土)の不溶化・改質・固化による現場利用促進技術です。(現場利用時、移動式土質改良機等利用)	二酸化ケイ素、酸化アルミニウム、酸化カルシウムの複合体と炭酸カルシウムの複合体	土壤再生・廃棄物の減少	土壤改良剤
バイオマス灰を用いた重金属類吸着層工法(MAL工法)	CB-190015-A	科学的に無害なバイオマス発電残留灰を造粒固化したものと鉛吸着効果を持つ汚泥処理焼却灰を吸着層母材とし、吸着剤と工場混合することにより吸着能力の品質確保を図るとともに、現地混合作業を削減することから工期短縮を実現した。	バイオマス発電残留灰	土壤再生・廃棄物の減少	土壤改良剤

特集

環境負荷低減型 固化材 HSS 工 法「ドクトール」	CB-120028-VR	本技術は、重金属類汚染土等の不良土の固化・不溶化技術である。従来は、廃棄処分していた。本技術により、不良土の現場利用促進が可能である。また、反応後の pH が中性域であることから、付近が河川・湖沼・田畑でも安全に施工できる固化材としても利用可能である。	高炉スラグ、ペーパーセラッジ灰	土壌再生・廃棄物の減少	土壌改良材
重金属等による 汚染土壌の固 化・不溶化処理 材料(エコアース)	KT-150057-A	本技術は重金属等による汚染土壌の固化・不溶化処理材料(エコアース)であり、従来はセメント系固化材による固化・不溶化工法で対応していた。本技術の活用により固化・不溶化効果を高める事が可能となり、安全性の向上、工期の短縮、環境負荷低減が期待できる。	酸化マグネシウム系固化材	土壌再生・廃棄物の減少	土壌改良材
窓ガラス遮熱・ フミンコーティ ング	TH-150013-A	窓ガラスで紫外線と近赤外線(熱線)を吸収してカットする省エネ窓ガラス遮熱コーティングである。耐候性に非常に優れていて、金網入り・凹凸・曲面・巨大ガラスなど大きさや形状を問わずどんな窓ガラスにでも施工が可能で、夏は涼しく、冬は暖かい空間を作る	APO(antimony pentoxide)を含む塗料	温室効果ガス削減・ヒートアイランド現象防止	遮熱工
バイオターフ	KT-160011-A	本技術は、植物由来ポリエチレンを使用して人工芝を製造する技術で、従来は、石油由来ポリエチレンを使用して人工芝を製造していた。本技術の活用により、温室効果ガス削減、有限資源(石油)の節約といった環境保全効果が期待できます。	植物由来ポリエチレン(バイオポリエチレン)	温室効果ガス削減	緑化工

特集

高保水性・透水性インターロッキングブロック グリーンビズ G(グラウンド)/ レインボーエコロブロック Biz	KT-150079-A	本技術は高い保水性と透水性を兼備した環境配慮型インターロッキングブロックで、従来は透水性インターロッキングブロック技術で対応していた。本技術の活用により持続的な打ち水効果と耐凍結性の特性が現れ、地球環境と安全性の向上が図れます。	発泡セラミック ス骨材	ヒート アイラ ンド現 象防止	歩道舗装工
SW ライナー工 法(製管工法)	KT-150034-A	本技術は、老齢化・老朽化した管きよを非開削かつ供用下で更生する管きよ更生工法(製管工法)で、従来は、開削工法による管布設替えで対応していた。本技術の活用により、掘削や埋戻し、仮排水・水替え等の必要性がなくなるので、経済性の向上や工期の短縮が図れます。	硬質塩化ビニル	リユース 技術	管渠工
マットペープ	KK-100092-VR	本技術は、アスファルト舗装のひび割れを補修するマット型の補修材である。本技術では作業が貼付けのみで、熟練作業員を必要とせず、短時間で施工が可能である。また、高い付着性引張強度を有し、補修箇所に着する。	高粘度改質アス ファルト	リユース 技術	路面補修工
リフレッシュシ ール Mix	TH-100011-VR	本技術は、加熱アスファルト混合物に特殊改質剤を添加することで、いたんだ舗装路面を、舗装厚さ1～2cmの薄層で効率的に補修することができる。この技術により、既設舗装の延命効果および、工期短縮と工事コストの削減が可能である。	中温化剤、改質 剤、植物繊維	リユース 技術	路面補修工

特集

型丸	KT-110076-VE	本技術は、合成樹脂中空板の両面に耐水性板紙を接着し、合成樹脂フィルムで包みこんだコンクリート用型枠であり、従来はコンクリート型枠用合板を使用していた。本技術の活用により、繰り返し使用が可能のため産業廃棄物の抑制ができ、周辺環境への影響低減が期待できる。	合成樹脂フィルム	リユース技術	型枠工
RCG インナーシール	KK-100013-VR	本技術は主成分の粒子コロイドと化学反応の相互作用でコンクリート躯体を保護する技術です。本技術の活用により、コスト縮減、工期短縮、品質の向上、また、施工確認用退色性着色材(α工法)により施工確認が目視または写真で可能となり施工性も向上する。	ケイ酸ナトリウム、ケイ酸カリウム	リユース技術	補修補強工
ECO-SCOP 工法	HK-160021-VE	分析用途の塗膜採取の従来技術は、素地調整 2 種が用いられているが、本技術の採取用具を用いることで、塗膜の採取コスト、作業工程と日数を各段に低減し、塗膜に含む有害物質から作業員の安全と周辺環境の汚染および二次汚染廃棄物の発生が防止できる。	—	有害物の拡散防止	防食対策工
亜鉛半溶鋳炉による低濃度 PCB・鉛含有塗膜などの処理	QS-160053-A	許認可を受けた施設で鋼構造物の塗膜層等に含まれる PCB や鉛などを無害化・再資源化する技術である。従来は、PCB を焼却処理し、鉛は焼却後埋立処分されていたが、本技術によりコスト縮減と再資源化を実現できる。	—	有害物質の無害化・再資源化	防食対策工

特集

金属蒸気回収炉による低濃度PCB含有塗膜の処理	TH-160005-A	PCB含有の塗膜くず等を金属・蒸気回収炉(流動床式焼却炉)に投入し、燃焼温度850℃以上、滞留時間2秒間以上で燃焼させることでPCBを無害化する。塗膜くずに含有される鉛等の重金属はばいじんに濃縮し、非鉄製錬工程を経て地金として回収される。	—	有害物質の無害化・鉛の回収	道路付属物塗替工
環境調和型高性能ハイブリッド凝集材	HK-160003-A	本製品は、天然鉱物を原料とした無機凝集材である。従来工法(PAC+高分子)では、pHにより反応が変化する為、前処理(pH調整)が必要であったが、本製品ではpHに左右されず1材での処理が可能となった。本製品の活用により、作業負担の軽減、コスト縮減が図られる。	粉体凝集材	水質保全	水質保全工
小型貝殻ブロック 貝藻くん	CGK-150001-A	空中重量60kgとコンパクトな構造で、沿岸海域の環境修復を目的にした小型貝殻ブロック。	貝殻	環境保全	環境対策工
法面マットフィルター	KT-150058-A	本製品は高強度な高密度ポリエチレン繊維で製作した法面保護マットで、従来は侵食防止の機能がないラス張工で対応していたが、本製品の活用により侵食防止と緑化基礎工の両機能を持ち、取扱いが容易であることから、施工性と法面の安全性が向上する。	バイオマスプラスチック	環境配慮材料使用	法面工
環境対策緑化工法	CB-100007-VE	従来、法面緑化工事では緑化資材の空袋が大量に発生し、産廃として焼却処分されている。本工法は、包装袋を生分解性プラスチック製とし、この空袋を現場内で再資源化処理して生育基盤材と混合吹付する工法で、産廃(空袋)発生量ゼロ(ゼロエミッション)が可能となる。	生分解性プラスチック	環境配慮材料使用	法面工

特集

<p>中性固化材「グリーンライム NP シリーズ」</p>	<p>TH-150005-A</p>	<p>マグネシウム及びカルシウムを主成分にその他無機材料を最適に組み合わせ、中性域において強度発現に優れ、植生や周囲の環境に配慮した固化材である。</p>	<p>マグネシウム、カルシウム</p>	<p>環境配慮材料使用</p>	<p>安定処理工</p>
<p>高耐油性日本シバ「バーニングフィールド」</p>	<p>KK-200036-A</p>	<p>本技術は、張芝工において日本シバ品種の耐油性等を改良し、油汚染浄化機能を付した材料技術であり、従来はシバを使用していた。本技術の活用により、油汚染土壌での生育や耐乾燥性に対する材料品質向上、リサイクル性による地球環境への影響抑制が期待できる。</p>	<p>—</p>	<p>環境配慮技術</p>	<p>植栽工事</p>

建設リサイクルQ&A

Q 1. 建設リサイクル法において、発注者の役割はどうなっていますか？

A 1. 建設リサイクル法第6条(発注者の責務)において、『発注者は、その注文する建設工事について、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用等により、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等の促進に努めなければならない。』とされています。

発注者の役割を、建築物の新築工事と解体工事に区分すると、次のようになります。

1) 建築物等の新築工事における発注者の役割

- ①発注した工事が対象建設工事の場合、「発注者」は都道府県知事に届出をしなければなりません。
- ②廃棄物の排出抑制のため、「発注者」は、技術的、経済的に可能な範囲で、建築物等の長期間使用に配慮した建設に努めることが必要です。また、建設工事に伴って発生する建設資材について、再使用・再利用に配慮することも必要です。
- ③再資源化の促進のため、「発注者」は建築物の新築工事等において建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材をできる限り選択するよう努めることが必要です。なお、国等の公共機関が発注者となった場合、公共工事等では率先して再資源化を促進することとしています。

2) 建築物等の解体工事における発注者の役割

- ①発注した工事が対象建設工事の場合、「発注者」は都道府県知事に届出をしなければなりません。
- ②発注者は、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等が適正に実施されるよう、当該費用を適正に負担します。
- ③建築物等に係る解体工事等の施工に先立ち、建築物内の家具や家電製品などの残存物品は、事前調査の段階で受注者はこれらの物品の有無を調査することになっています。発注者は受注者からこれらの物品に対して報告を受けた場合は、排出者として適正に処分する必要があります。

建設リサイクルQ&A

Q 2. 建設リサイクル法において、建設業者(受注者)の役割はどうなっていますか？

A 2. 建設リサイクル法第5条(建設業を営む者の責務)において、『建設業を営む者は、建築物等の設計及びこれに用いる建設資材の選択、建設工事の施工方法等を工夫することにより、建設資材廃棄物の発生を抑制するとともに、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めなければならない。

また、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用するよう努めなければならない。』とされています。

これは、元請業者、下請業者、孫請業者に至る全ての建設業を営む者に係る責務となっています。

建設工事を営む者の役割を、建築物の新築工事、解体工事に区分すると次のようになります。なお、下記において「 」で示す主体のうち、「元請業者」以外のものは、下請業者、孫請業者等も含んでいます。

1) 建築物等の新築工事における建設業者の役割

- ①受注した工事が対象建設工事である場合、「元請負者」は届出に係る事項を発注者に説明しなければなりません。また、「元請業者」は当該工事の全部又は一部を下請業者へ委託する場合、当該下請業者に対し、届出に係る事項を説明しなければなりません。この際、適正な施工が確保されるよう、「元請業者」は下請業者に施工手法等に係る指導に努めなければなりません。さらに、受注者間において建設業法に基づく適正な請負契約が必要となります。
- ②廃棄物の排出抑制のため、「建設業者」は、端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択に努めるほか、端材の発生抑制、再使用できる物を再使用できる状態にする施工方法の採用及び耐久性の高い建築物等の建築等に努める必要があります。特に、使用済コンクリート型枠の再使用に努めることが必要です。
- ③再資源化により得られたものの利用の促進のため、「建設業者」は、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材をできる限り利用するよう努める必要があります。また、これを利用することについての発注者の理解を得るよう努める必要があります。
- ④「対象建設工事の受注者」は、新築工事に伴って生じた特定建設資材廃棄物について、再資源化をしなければなりません。
- ⑤「対象建設工事の元請業者」は、工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化が完了したことを工事発注者に書面で報告しなければならないと同時に、実施状況の記録を作成して保存しなければなりません。書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用した方法でも可能です。
- ⑥「建設業者」は、フロン類、石綿を含有する建設資材及びCCA処理木材等の処理にあ

建設リサイクルQ&A

たっては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、適正な処理を実施しなければなりません。

2) 建築物等の解体工事における建設業者の役割

- ①「解体工事業を営もうとする者」のうち、建設業許可(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業)を有しない者は、解体工事業者の登録が必要となります。
- ②受注しようとする工事が対象建設工事である場合、「元請業者」は届出に係る事項を発注者に説明しなければなりません。また、「元請業者」は当該工事の全部又は一部を下請業者へ委託する場合、当該下請業者に対し、届出に係る事項を説明しなければなりません。
この際、適正な分別解体等及び再資源化等が実施されるよう、「元請業者」は下請業者に施工手法等に係る指導に努めなければなりません。さらに、受注者間において建設業法に基づくものの他、分別解体等の方法及び解体工事に要する費用等主務省令で定める事項について、適正な請負契約が必要となります。
- ③「対象建設工事の受注者」は、分別解体等に伴って生じた特定建設資材廃棄物について、再資源化をしなければなりません。
- ④「対象建設工事の元請業者」は、当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源が完了した旨を当該工事の発注者に報告しなければなりません。
- ⑤「建設業者」は、フロン類、石綿を含有する建設資材及びCCA処理木材等の処理にあたっては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、適正な処理を実施しなければなりません。

建設副産物リサイクル広報推進会議事務局
改訂版 建設リサイクル実務Q&Aより

インフォメーション

建設副産物リサイクル広報推進会議 の活動について

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局

キーワード：建設リサイクル、広報活動

建設副産物リサイクル広報推進会議では、下記の活動を行っております。

1. 建設リサイクル広報用ポスター

毎年、3R 推進月間に向けて建設リサイクルポスターを作成・販売しています。本ポスターを建設副産物リサイクル広報推進会議 HP および行政機関の広報誌やホームページ等で広報し、建設リサイクルの活動を働きかけています。

2020 年度建設リサイクル広報用ポスターは、本号表紙のデザインです。
詳細は、下記の URL に掲載しております。

<http://www.suishinkaigi.jp/publish/poster.html>

2. 建設リサイクル推進計画 2020 シンポジウム

建設リサイクル推進計画 2020 についてのシンポジウムを開催いたします。

日時：令和 2 年 11 月 11 日（水） 13：00 より

場所：星陵会館(WEB 配信もあり)

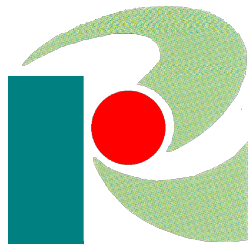
参加申込み等の詳細は、下記の URL に掲載しております。

<http://www.suishinkaigi.jp/diffuse/symposium.html>

3. その他

事務局に寄せられる建設リサイクル等に関する質問に対応する。
等の活動を行っております。詳細は、HP をご覧ください。

<http://www.suishinkaigi.jp/>



建設

2020 秋号・Vol. 92

2020 年 10 月発行

建設副産物リサイクル広報推進会議

事務局：一般財団法人 先端建設技術センター